

イーライリリィ(LLY)

【セクター】 医薬品

信買

【市場】 NYSE

信売

【企業概要】

製薬業界で世界大手の一角。1876年創業で、世界で初めてインスリンの大量生産を実現したことで有名です。研究開発重視で、売上の25%程度を投入しています。2023年12月期売上の58%を占める糖尿病治療薬、20%を占めるがん治療薬、同11%を占める免疫分野の治療薬が中心で、糖尿病治療薬では「トルリシティ」、がん治療薬では「ページニオ」、免疫分野では乾癬治療薬「トルツ」が主力です。

【業績】（単位：売上高、純利益は百万ドル、EPS、1株配当、BPSはドル、ROE、自己資本比率は%、純利益、EPSは調整後ベース）

決算期	売上高	純利益	EPS	1株配当	BPS	ROE	自己資本比率
22.12期	28,541	6,848	7.57	3.92	11.2	63.6	21.8
23.12期	34,124	8,276	9.16	4.52	-	-	-
24.12期（予）	40,921	11,292	12.55	5.19	19.5	73.9	-

※EPS：1株当たり利益、BPS：1株当たり純資産、ROE：株主資本利益率

（出所）BloombergのデータよりSBI証券作成

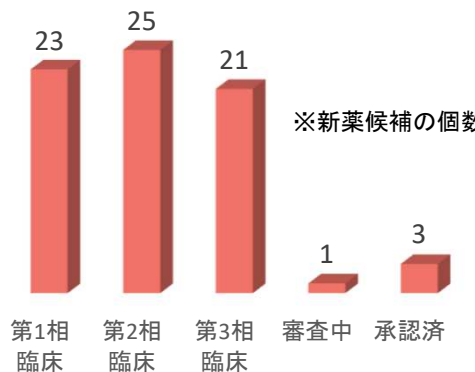
【主要指標】

主力薬の売上（2023年12月期）

薬名	効能	売上高 (億ドル)
トルリシティ	糖尿病治療薬	71.3
マンジャロ	肥満治療薬	51.6
ページニオ	がん治療薬	38.6
トルツ	乾癬治療薬	27.6
ジャディアンズ	糖尿病治療薬	27.4
ヒューマログ	糖尿病治療薬	16.6

（出所）会社資料よりSBI証券作成

新薬の開発状況（2024年2月6日時点）



（出所）会社資料よりSBI証券作成

【会社の見方】

注目の肥満治療薬「ゼップバウンド」（一般名：チルセパチド、注射薬）が11月8日にFDAから承認されました。成人2500人以上を対象に食事療法や運動を加えた臨床試験（試験開始時の平均体重は105キロ）では、ゼップバウンドを服用した被験者は服用可能な最高用量で平均約22キロ体重が減少、最低用量でも平均約15キロ減少した実績があります。「ウーゴビ」で先行するノボルディスクと、2030年に770億ドルとの予想もある肥満治療薬市場を2分すると期待されています。このほか、第3相臨床試験以上の開発薬が20種類以上あり、パイプラインの中で特に注目されているのは、アルツハイマー治療薬「ドナネマブ」、皮膚炎治療薬「レプリキズマブ」などです。

【見通し・注目点】

10-12月期は最新型の糖尿病治療薬マンジャロや肥満治療薬のゼップバウンドがけん引して売上は前年同期比28%増（要因分析：価格が同16%増、数量が同11%増、為替が同1%増）、調整後EPSは同19%増と好調でした。生産能力が売上の制約になっていることから、米国ではインディアナ州など2拠点の生産能力拡大、ドイツで製造拠点の建設を行います。2024年12月期のガイダンスは、売上が404~416億ドル、調整後EPSが12.20~12.70ドルです。

本レポートに関するご注意事項

- ・本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。万一、本資料に基づいてお客様が損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。
- ・本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。本資料の内容は作成時点のものであり、信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成したのですが、正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に記載の情報、意見等は予告なく変更される可能性があります。

手数料及びリスク情報等

- ・SBI証券で取り扱っている商品等へのご投資には、各商品毎に所定の手数料や必要経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等は価格の変動等により損失が生じるおそれがあります(信用取引、先物・オプション取引、商品先物取引、外国為替保証金取引、取引所CFD(くりっく株365)では差し入れた保証金・証拠金(元本)を上回る損失が生じるおそれがあります)。各商品等への投資に際してご負担いただく手数料等及びリスクは商品毎に異なりますので、詳細につきましては、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法等に係る表示又は契約締結前交付書面等をご確認ください。